

平成 27 年 6 月 29 日

緊急時対策支援システム（ERSS）の伝送停止について

原子力規制庁は、6 月 27 日 12 時 41 分、運転停止中の中部電力浜岡原子力発電所 5 号機に係る緊急時対策支援システム(ERSS)のプラント情報表示システム（ ）において、12 時 20 分以降のデータ伝送が停止していることを確認しました。直ちに、中部電力に対してシステム復旧を要請するとともに、システムの復旧までの間のプラントパラメータ情報は電話、FAX 又は電子メール等の手段により原子力規制庁に送付するよう要請しました。

その後、データ伝送停止の原因は、中部電力のプロセスコンピュータの障害発生によるものと判明しました。

原子力規制庁は、中部電力の復旧作業後、ERSS へ送信されたデータが問題なく受信できることを確認し、6 月 28 日 14 : 42 に ERSS への伝送が復旧したことを確認しました。

経過については別紙のとおりです。

なお、本件は、原子力施設のトラブルに関するものではありません。

格納容器内の圧力や温度等の原子力施設のプラント情報をモニタに表示するためのシステムのこと。

原子力規制庁 原子力災害対策・核物質防護課

課長：荒木

担当：高野、中台

電話：03-5114-2121

別紙

< 概要 >

- 1 . 6月27日12時40分に中部電力から伝送異常の連絡があり、原子力規制庁は12時41分、運転停止中の中部電力浜岡原子力発電所5号機に係る緊急時対策支援システム(ERSS)のプラント情報表示システムにおいて、12時20分以降のデータ伝送が停止していることを確認。
- 2 . 原子力規制庁は、中部電力に対しシステム復旧を要請するとともに、システムの復旧までの間のプラントパラメータ情報は電話、FAX 又は電子メール等の手段により原子力規制庁に送付するよう要請。
- 3 . 中部電力の伝送ネットワーク等において次の事実関係が確認。
 - ・ 5号機のプロセスコンピュータには運転停止中の原子力施設からのプラントパラメータ情報が問題なく集約されていること。
 - ・ 他号機のプラントパラメータ情報は問題なく送信されていること。
 - ・ 5号機のプロセスコンピュータから ERSS ヘデータを伝送するための伝送サーバにプラントパラメータ情報が送信されていないことから、プロセスコンピュータに障害が発生したものと推定。
- 4 . 中部電力より、伝送復帰に向けて下記の連絡。
 - 6月28日
 - 14:00 伝送ラインの装置の再起動
 - 14:42 伝送データの伝送再開(テスト伝送)
 - 15:43 ERSS への試験データ伝送の再開を原子力規制庁へ連絡
- 5 . 原子力規制庁は、浜岡原子力発電所5号機からのデータが、14:42より問題なく伝送されている事を確認。

中部電力には、引き続き原因調査を行うよう要請。